

1 基本目標1 人づくり

施策(1)	施策(2)	施策(3)
地域活動に参画する担い手の養成	NPO・ボランティア活動等の推進	地域におけるネットワークの強化
B	B	B

評価基準は、次の4段階

「A」 計画通り実施した(80%以上の達成)

「B」 概ね計画通り実施した(60%以上)

「C」 計画通り実施できていない(40%以上)

「D」 未実施、実施できなかった(40%以下)

2 基本目標2 地域づくり

施策(1)	施策(2)	施策(3)	施策(4)	施策(5)
人と人の結びつきの推進	地域におけるセーフティネットの構築	人権の尊重と権利擁護の充実	地域共生の社会づくり	自助、互助、共助による防災体制の構築
B	B	B	B	B

3 基本目標3 体制づくり

施策(1)	施策(2)	施策(3)	施策(4)
相談体制の充実	福祉サービスの充実	障害者の自立支援	生活困窮者の自立支援
B	B	B	B

4 評価結果

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に感染症法上の対応は緩和されましたが、サロンなどの各種行事にコロナ禍前に参加していた高齢者が参加しなくなったなど、高齢者の社会的孤立などが心配されます。また、元日に発生した能登半島地震では多くの方が被災され、復旧活動にボランティアの力が必要とされています。改めて社会福祉協議会の役割が再認識された年となりました。

このような社会情勢の中、介護人材確保のために介護職員初任者研修の実施や情報発信強化のためホームページのリニューアル、障害者の利便性向上のための移送サービスの拡充、将来地域の担い手となる小中学生に対する「福祉教育」の実施など、積極的に事業を展開したことを評価します。

しかしながら、一部事業には計画通り進んでいない事業が見受けられます。進まない要因を分析し対応策を検討することが重要となりますので、定期的に計画の推進状況を確認し、事業の改善を図ってください。

第5次地域福祉活動計画は4年目を迎え、社会福祉協議会に対する期待度は大きく、その活動はますます重要になってきています。基本理念や基本目標の実現に向けた取組みを最終年度である7年度を見据えた中で、着実に進めることが大切です。

本委員会の評価を踏まえ、高齢者をはじめ地域の方々がいつまでも元気で暮らせるよう、地域共生のまちづくりを目指して、社会福祉協議会の活動が更に充実するよう事業を推進されることを期待します。

第5次地域福祉活動計画 基本理念 「いつまでも健康で 人がつながり支えあうまち 南足柄」

● 社会福祉協議会に対し、ご意見ご要望がありましたら、ぜひお寄せください。

● 社会福祉協議会の活動にご理解いただき、ぜひ活動にご参加ください。

基本目標1 人づくり

令和5年度 達成度

施策	施策内容	委員会評価	委員会評価の理由
施策(1)	地域活動に参画する担い手の養成	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に初めて行った「初任者研修」は、介護人材が不足する中で評価できる取組みである。5年度実施した際の課題を基に、より良い形で継続できるよう取り組んで欲しい。また、募集の際には効果的な媒体を活用して多くの申し込みがあるように工夫して欲しい。 小中学校での福祉教育は、次世代の人材育成につながる重要な取組みである。少しでも多くの体験の場を確保するため、学校側に理解と協力を求める働きかけを行って欲しい。学校で福祉を実体験することで、ふくし標語、福祉作文等の募集にも良い影響が期待できる。 寺子屋事業は応募者が多く、好評であることを評価する。急なキャンセルに対し対応できるよう受付方法などを工夫して欲しい。
施策(2)	NPO・ボランティア活動等の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアルにより、活用の場面が拡大している。今後、よりホームページやSNSを活用したボランティア活動紹介や募集を行い、住民に働きかけを継続して欲しい。
施策(3)	地域におけるネットワークの強化	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域の社会福祉法人等と地域連携について個別聞き取りが始まった。今後の具体的な取組みに期待する。

総合評価

・学校での福祉教育は、次世代の人材育成につながる重要な取組みであり評価する。学校との日程調整等に当っては、社協が主導的な立場で調整し事業を進めていただきたい。
 ・寺子屋事業は、参加希望者が多く、好評であり、評価する。今後は急なキャンセルがあっても対応できるよう受付方法などを工夫して、子どもたちが、より一層、福祉への関心を高められるよう事業を進めていただきたい。
 ・今年度初めて実施した介護職員初任者研修は、介護人材が不足し課題となっている中で、重要な取組みである。収支も含め課題を整理し、今後も継続的に実施することを期待する。
 ・リニューアルしたホームページは、閲覧数が増え、市民からも見やすくなったと好評である。よりSNSを活用し、若い世代にも周知できるよう工夫して、積極的に情報提供していただきたい。

基本目標2 地域づくり

令和5年度 達成度

施策	施策内容	委員会評価	委員会評価の理由
施策(1)	人と人の結びつきの推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアルにより、利便性が格段に向上し、閲覧数が増加したこと。さらに職員採用にまで効果があったことは評価できる。ボランティア活動の増加につながるようホームページ等やSNS活用について検討して欲しい。
施策(2)	地域におけるセーフティネットの構築	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から開始した身元保証と死後事務の取組みについては、順調に運営できており評価できる。エンディングノートについては、他市町等の参考ともされる取組みであり、現在も増刷し、普及啓発を図っていることを評価する。 「認知症家族のつどい」の運営に関しては、介護者や認知症当事者の方が参加しやすい環境を整える必要がある。「認知症カフェ」の良さを参考にし、気軽に来られる場づくりとなるよう検討されたい。
施策(3)	人権の尊重と権利擁護の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> あんしんセンターで実施する事業(日常生活自立支援事業、法人後見事業)については、順調に実施しており、評価できる。令和4年度より開所した「あしがら成年後見センター」については、足柄上地区の権利擁護支援の状況を把握することができ、一次相談窓口との協力体制についても形が整いつつあることを評価する。さらに、一次相談窓口との連携に努め、様々な権利擁護に関する相談に適切に対応できるセンターとなれるよう、期待する。
施策(4)	地域共生の社会づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域での子育てサロンの運営について、参加人数の減少等の原因について、市の取組みや現状を分析することにより、多世代交流の場とする等、新しいチャレンジのきっかけとなる可能性があるのを検討して欲しい。 おたがいさまネット南足柄について、千津島地域の立ち上げ支援について、ネット組織内の協力もあり順調に行えたことは大変評価できる。
施策(5)	自助、互助、共助による防災体制の構築	B	<ul style="list-style-type: none"> 足柄上地区1市5町の社協が連携し、災害ボランティアセンター運営方法について共通のノウハウをもち、広域での学びあい、さらに連携を模索する等の動きについて評価する。引き続き、日頃の備えに尽力して欲しい。

総合評価

・「認知症家族のつどい」は、介護者や認知症当事者が参加しやすい環境を整える必要がある。家族の悩み事や情報交換の場として機能している認知症カフェを参考にし、気軽に行ける場となるよう検討していただきたい。
 ・南足柄市社協のエンディングノートは、他の市町や社協で参考にされており、増刷されるほど好評である。今後も普及啓発に努めていただきたい。
 ・おたがいさまネット南足柄は、新たに地域の拡大が図られるとともに、リピーターも多く、その活動は大いに評価する。今後もおたがいさまネットの活動を支援していただきたい。
 ・子育てサロンは、参加者が少ないことについて、原因を分析する必要がある。多世代交流の拠点として、形を変えるなどの新しいチャレンジのきっかけともなる可能性があるのを検討していただきたい。

令和5年度 達成度

施策	施策内容	委員会評価	委員会評価の理由
施策(1)	相談体制の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所は概ね計画通りに事業を行っており、収益に結びつかなくても、職員採用の努力や創意工夫のある取組みを展開しており、委員会として評価したい。 協議体(注1)の設置に向けた取組みについては、市、地域包括支援センター、住民とともに話し合いを深め、取り組んで欲しい。 <small>(注1)協議体とは・・・生活支援体制整備事業にもとづき、地域包括ケアシステムの実現のため、地域に支えあいの輪を広げていけるよう、地域住民を中心として話し合う場のこと</small>
施策(2)	福祉サービスの充実	B	<ul style="list-style-type: none"> 移送サービスについては、一時は廃止まで検討されていたものを市の委託を受け、安定した運営に回復している点において評価できる。事務局が課題としてあげている買い物支援については、今後、住民が使いやすいサービスとなるよう取り組んで欲しい。 福祉サービスについての情報発信について、事務局内での検討が不足しているため、内容等の検討を進めて欲しい。
施策(3)	障害者の自立支援	B	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある人への理解を深めるピア活動の取組みは、創意工夫のある内容である。今後、さらに事業を広げることが期待する。
施策(4)	生活困窮者の自立支援	B	<ul style="list-style-type: none"> 家計相談については、市が民間業者に委託して行っており、社協として取り組む必要性が低くなっている。

総合評価

・居宅介護支援事業所については、ケアマネジャーの確保が難しい中で、定員通りの人員が確保され、また育成していることを評価する。今後も適正なサービス提供ができるよう努めていただきたい。
 ・移送サービスは、一時期廃止も検討されたにもかかわらず、市と連携しサービスの拡充など継続実施していることに対し評価する。今後も買い物支援などのサービスの充実を図るよう進めていただきたい。
 ・就労継続支援B型事業所「さつき」は、移転した「アースエコー」の運営や「テイクアウトカフェ」を開店するなど工夫がみられ、利用者の働く場の多様化を図っている点について評価するが、さらに利用者の増加を図るなど安定した運営に努力していただきたい。
 ・ホームページがリニューアルされ効果を上げている中で、情報発信すべき福祉サービスの検討が進んでいない。どのように進めるのか、何を発信するのか、基本的な考え方を再度検討し、対応を進めていただきたい。

評価結果

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に感染症法上の対応は緩和されましたが、サロンなどの各種行事にコロナ禍前に参加していた高齢者が参加しなくなったなど、高齢者の社会的孤立などが心配されます。また、元日に発生した能登半島地震では多くの方が被災され、復旧活動にボランティアの力が必要とされています。改めて社会福祉協議会の役割が再認識された年となりました。

このような社会情勢の中、介護人材確保のために介護職員初任者研修の実施や情報発信強化のためホームページのリニューアル、障害者の利便性向上のための移送サービスの拡充、将来地域の担い手となる小中学生に対する「福祉教育」の実施など、積極的に事業を展開したことを評価します。

しかしながら、一部事業には計画通り進んでいない事業が見受けられます。進まない要因を分析し対応策を検討することが重要となりますので、定期的に計画の推進状況を確認し、事業の改善を図ってください。

第5次地域福祉活動計画は4年目を迎え、社会福祉協議会に対する期待度は大きく、その活動はますます重要になってきています。基本理念や基本目標の実現に向けた取組みを最終年度である7年度を見据えた中で、着実に進めることが大切です。

本委員会の評価を踏まえ、高齢者をはじめ地域の方々がいづまでも元気で暮らせるよう、地域共生のまちづくりを目指して、社会福祉

第5次地域福祉活動計画 基本理念

「いつまでも健康で 人がつながり支えあうまち 南足柄」

- 社会福祉協議会に対し、ご意見ご要望がありましたら、ぜひお寄せください。
- 社会福祉協議会の活動にご理解いただき、ぜひ活動にご参加ください。